

# 日琉諸語のデジタルアーカイブ

加藤幹治（ROIS-DS 人文学オープンデータ共同利用センター 特任研究員）

## 研究の目的

日本で話されている諸言語（日琉諸語）の実態を記録保存する

日本では日本語以外の言語が話されているが、その全ての実態が明らかになっているわけではない



### 目的①

- 日琉諸語の文法体系を記述する

### 目的②

- 辞書・文法記述・談話資料をデジタル化して広く公開する

## 日琉諸語とは？

日琉諸語 = 日本語 奄美語 沖縄語 宮古語 八重山語 与那国語

- 日本語と琉球（奄美・沖縄）の言語の総称
- 同一の先祖から発達した関係にある

	食べる	月
日本語	食べる	月
奄美語	コーユン	ツキユ
沖縄語	カミュン	チチ
宮古語	ファウ	クスクス

どれくらい違うの？

- 文法体系が異なる
- お互いの言葉を理解できない

## 目的① 日琉諸語の文法の記述

### 概要

文法記述とは？

- 言語の音声、語の形成方法、文の形成方法などを総称して文法という
- 言語の文法体系をまとめたもの = 文法書
- 日琉諸語の言語で文法書を作成中

### 事例

- 博多弁で「太郎が走る」「犬の走る」はどうして助詞が違う？

→主語名詞句の「有生性」による「助詞の交替」現象

## 目的② デジタルアーカイブ化

### 概要

集めた記述データをもとに、コンピュータ上で扱えるアーカイブを作成する

## アーカイブの事例（1）：デジタル沖縄語辞典

### 概要

国立国語研究所『沖縄語大辞典』を使いやすいウェブ辞典としてデジタル化



### 新しいところ

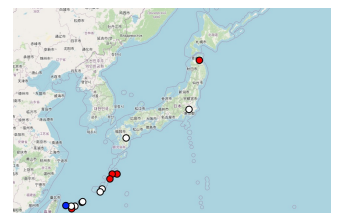
- 初のデジタル沖縄語辞典
- 国際的な規格（TEI）を用いた
- 英語・スペイン語・ポルトガル語訳の追加

※国立国語研究所「学術知デジタルライブラリの構築」（代表：高田智和）宮川創助教授との共同研究

## アーカイブの事例（2）：文法データベース

### 概要

日琉諸語の文法特徴をデータ化し、地図上に表示



### 新しいところ

- 初の日琉諸語文法データベース
- それぞれの言語の特徴を視覚的に理解できる

	母音の数
日本語	5
奄美語	7
沖縄語	5
宮古語	4

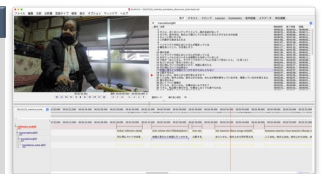
※DS-JOINT #048RP2022 「日琉諸語の言語類型アトラスLAJaRの開発と分析」（代表：宮川創）

## 目的③ 今後の展望：談話資料の公開

### 概要

談話資料とは？

- 話者の会話や独話を録音して文字起こししたものを談話資料という
- 時間に沿った音声情報であり、注釈が必要
- 生の言語実態を知ることができる



### 課題

- 公開のフォーマットが統一されていない
- 語彙集などとのリンクがない

### 展望

- XMLを利用したフォーマットの提案
- ブラウザ上で語彙集とリンクした談話の表示